

大川村プロジェクト(観光・交流)の取り組み

平成29年9月

将来像 人口400人の維持

大川村振興計画 (抜粋)

平成24年度策定 (H25~34)

基本目標：働きよい村づくり

【観光・商工の振興】<目標：白滝の里宿泊者数1,500人 (H34) >

【交流人口の拡大】<目標：ふるさと村民数200人 (H34) >

大川村 プロジェクト

観光・交流部会

【役割】

これらの取り組みの進捗管理を通じて、地域資源を活用した観光振興や交流人口の拡大を目指す

大川村まち・ひと・しごと創生総合戦略 (抜粋)

平成27年8月策定 (H27~31)

基本目標1：地域産業の振興により雇用を創出する

【観光・商工の振興】<目標 (KPI)：白滝の里の入込客数15,000人 (H31) >

基本目標2：村への新しい人の流れをつくる

【交流人口の拡大】<目標 (KPI)：ふるさと村民数170人 (H31) >

大川村白滝の里観光交流基本構想

平成29年3月策定 (H29~34)

基本方針1

：村の魅力を活用したむらづくり

基本方針2

：ターゲットを明確にした誘客

基本方針3

：おもてなしの基盤づくり

自然王国 白滝の里

土佐のてっぺんに広がる自然体験王国。



1 白滝里の茶屋

大川村は黒牛の産地。白滝の里でも、炭焼された牛たちがのんびりと草を食む風景に出会えます。コクがあり火を通してもやわらかいこの黒牛を、白滝里の茶屋では炭火焼きパーベキューで個性あふれるお肉を味わえます。また、メニューには、大川黒牛の牛丼やちきん産卵力レーもありません。ぜひご賞味ください。パーベキュー1人前1,835円(税込) (団体は要予約)



愛媛県との境、海拔750mの土佐のてっぺんにある自然王国「白滝の里」。自然に恵まれたこの地では、コミュニティセンターやフィールドのほか、ローラー滑り台で大自然を思い切り楽しむことができます。夏場や冬場、季節ごとの体験ができる田舎体験や、セカンドスクールも開かれており、日常ではなかなか体験できない思い出作りの場が満載。宿泊施設やキャンプ場もあり、自然を思い切り満喫できます。



10 ローラー滑り台



2 田舎体験スクール

3 自然教育センター白滝 体験実習館

旧白滝小中学校をリフォームした、大人数で利用ができる教室タイプの自然教育センター。体験実習館は0-8歳の小児層と大人数があり、ペンションタイプの宿泊施設になっています。思い切り自然を満喫した後は木の香りがあふれる温泉でゆったり過ごすのも楽しいひとときです。



5 白滝キャンプ場

思い切りのキャンプ場。川で泳いだり、ハイキングに挑戦。体験実習館の裏手にあついでっかいお湯をおいしくお風呂。キャンプ用車のレンタルも行ってあります。

6 白滝小水力発電所

白滝製山跡地を活用した施設では、小水力発電所で生まれた電気も土佐ちきん産卵力レーの生産に利用して自然教育の現場で育てています。

7 スタジオジブリ作品グッズ&絵本キャラクターグッズコーナー

「となりのトトロ」、「魔女の宅急便」、「もののけ姫」、「千と千尋の神隠し」、「崖の上のポニータ」、「風の谷のナウシカ」などの絵本キャラクターグッズが豊富。おもしろいグッズもたくさんあります。



9 土佐ちきん地鶏

土佐ちきん地鶏は、大川村の山里で育った大川黒牛の里。ストレスにならないよう飼育されているので、肉質が柔らかくヘルシーで脂質が少なくヘルシーで解凍後の肉汁が少なく、お肉本来の旨味と甘みが堪能された味を堪能していただけます。



土佐ちきん地鶏焼き鳥セット



焼肉タレ「謝肉祭」

肉本来の旨味が味わえる特選仕立てのちょっと日頃の白滝のタレです。



地元素材を加工した特産品

大川村で採れたお茶や、山菜など、地元素材を活かした特産品です。

いろんな特典盛りだくさん!

- 四季折々のふるさと小包を年3回発送
- ふるさとむら公社の宿泊料の割引
◆4月1日-6月30日 ◆9月1日-11月9日 ◆11月10日-3月31日
10,000円 10,000円 30,000円
- 大川村の産物をご希望に応じてお届けします。
- イベント情報のお知らせ
- 宿泊・お買い物に応じたポイント制度

ふるさと村民

募集中!

会費(1年間) 10,000円

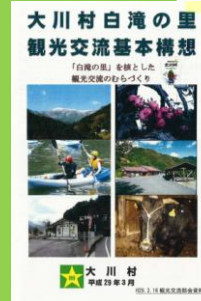


お勧め!!

これまでの主な取り組み

◆「大川村白滝の里観光交流基本構想」の策定

- ・大川村白滝の里観光交流アクションプラン（19）の作成



◆新たな観光コンテンツの構築に向けた検討・実施

- ・山岳観光の推進（登山道の整備・点検、登山パンフレットの作成）
- ・石鎚山系連携事業協議会への参画
- ・ロゲイニングを活用した企業研修プログラムの開発

など

H29年度上半期の主な取り組み

◆大川村白滝の里観光交流アクションプランの磨き上げ



Step1

村内に経済効果が及ぶよう、その受け皿になる拠点施設（白滝の里、結いの里）でアクションプランをカテゴリー化する

Step2

広域ブロック内で整備が進む「アウトドアの里（本山町）」「さめうら荘（土佐町）」の新設時期（H31）を当面の目標年次に定める。

Step3

人的・時間的な制約がある中、効果を発現できるように、アクションプランに優先順位を付けて絞り込む。

Step4

5W1Hを明らかにし、手立てを講じる。

下半期に向けた動き

アクションプランの推進

そのため

重点化

プランの概要

アクションプランは、基本構想の実現に向けて、3つの基本方針と7つの推進施策に連なる具体的な取り組みをまとめたもの。

大川村白滝の里観光交流基本構想

3つの基本方針

村の魅力を活用した
むらづくり

ターゲットを明確にし
た誘客

おもてなしの基盤づくり

7つの推進施策

地域資源を活かした観光の魅力づくり

村の素材を活かした食の魅力づくり

誘客活動の推進

効果的な情報発信の実施

観光交流を楽しめる環境の充実

おもてなしの人づくり

地域間連携

Step 3

19アクションプラン

重 観光資源を活用した体験型観光の推進
・観光資源の保全、整備

重 食の発掘と活用
・土産物の発掘
・里の茶屋を中心とした誘客の仕組み

重 旅行商品の開発
・既存の祭りの誘客力向上
・村の魅力を活用したイベント、大会の開催
・外国人来訪者への対応強化

・インターネット等を活用した情報発信の拡充と連携
・親しみやイメージとわかりやすい案内の整備
・観光交流情報の蓄積と共有に向けた仕組みづくり

重 観光交流関連施設の整備
・観光を楽しむための周辺整備

・観光交流プロジェクトリーダーの育成
・観光交流のむらづくりを推進する主体の構築
・担い手の人材育成

重 都市等との交流
・県、近隣市町村との連携強化

Step 1

カテゴリ

白滝 結い

結い

白滝

白滝

白滝

大川村白滝の里観光交流アクションプランの重点化



H31年度目標 入込客数15,000人

ターゲット 村外客

白滝の里

アクションプラン

観光資源を活用した体験型観光の推進

山川の自然や四季折々の魅力を活かし、主体意識が高まる「村ならではの体験や学び」といった付加価値の高い体験型観光を推進

・白滝の里を起点・経由地とする体験メニューの造成

白滝の里

山岳観光の推進

・女性等をターゲットに絞り込んだツアーの企画
日本ロングトレイル協会の加盟コースに登録

旅行商品の開発

企業向けの研修プログラム、学生の合宿誘致など受け入れるプランの開発や磨き上げを行う

・企画力・コーディネート力が不足
・セールツールの作成
・セール先の確保

白滝の里
民間企業

教育旅行と企業研修のプログラム実施体制の構築

観光交流関連施設の整備

山岳観光、企業研修、学生等合宿といったニーズに合致した観光交流の受入施設の整備を図る

・ハードの老朽化、耐震性
・ソフトの方向性

大川村

白滝の里の改修などを検討する村、県、関係者等によるワークショップを実施
・白滝鉱山の活用も合わせて検討

都市との交流

瀬戸内交流、姉妹村交流、吉野川上下流交流、ふるさと村民制などについて更なる充実を目指す

・情報提供の可否などの対象者への確認

大川村

ふるさと村民等に対する情報提供の仕組みづくり

結いの里



H31年度目標 年間利用者数1,000人

ターゲット 村民及び村外客

※目標値は、国の地方創生推進交付金の事業計画で設定したもの

アクションプラン

食の発掘と活用

観光において飲食は、最も身近な観光資源の一つであり、本村にとっても大きな影響を持つものであり、食べる観光を推進する

・誘客につながる「食」の開発

結いの里

大川村でしか食べられないメニュー（土佐はちきん地鶏の活用等）の開発

観光資源を活用した体験型観光の推進

山川の自然や四季折々の魅力を活かし、主体意識が高まる「村ならではの体験や学び」といった付加価値の高い体験型観光を推進

・結いの里を起点・経由地とする体験メニューの造成

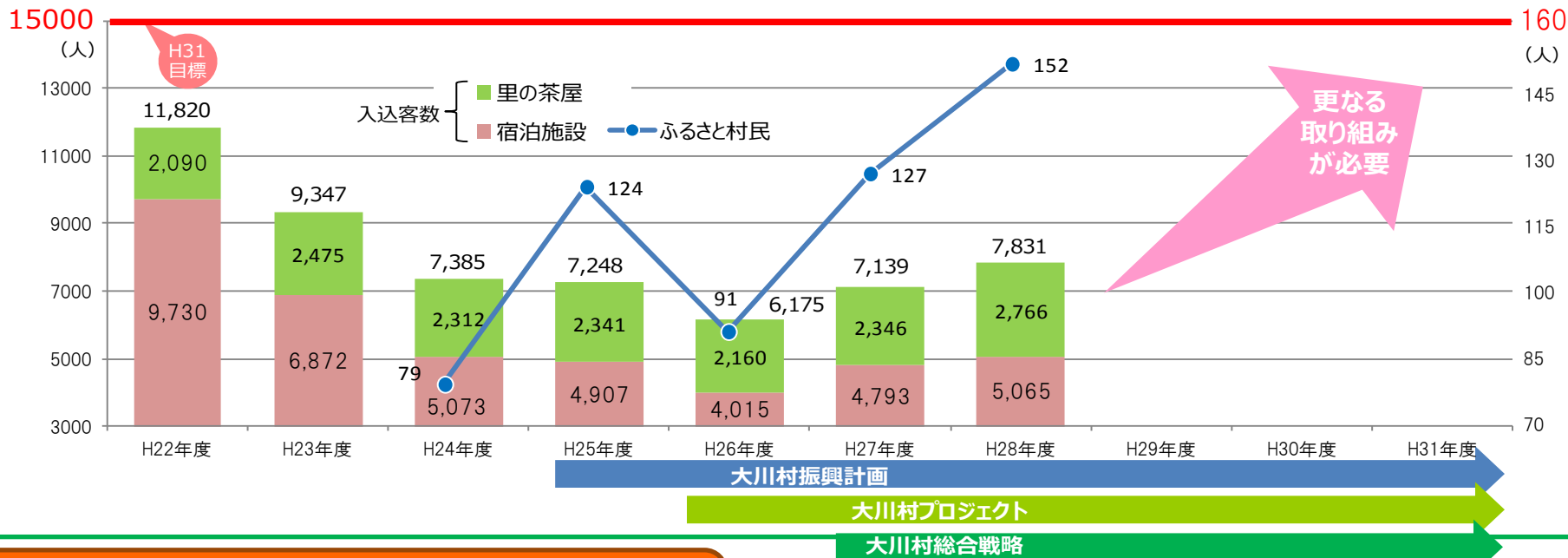
結いの里
民間団体

サイクリングイベントの企画立案

・プレイベントの実施
湖面を活用した体験メニュー（SUP等）の企画立案

大川村プロジェクトの加速化に向けた課題と対応策

数値目標の達成状況



大川村プロジェクトの加速化に向けた課題と対応策

課題

アクションプランの
効果的な実行

アクションプラン
を実行する
プレイヤーの不足

対応策

大川村プロジェクト産業振興部会、生活支援部会との連携（食、特産品の開発など）

これまでの人材確保策（HPでの告知、都市部での相談会等）に加え

- NEW (一社) 高知県移住促進・人材確保センターとの連携
- NEW 県内の民間移住支援団体（KIP）との連携
- NEW 観光関係団体（エージェント、観光協会等）との連携
- NEW ふるさと村民制度等を活用した個別ターゲット向け情報発信

大川村地域おこし協力隊
大川村ふるさとむら公社職員
至急確保!!

NEW
HP等
プロモーション
の強化

「白滝の里」や「結いの里」の事業計画や体制の整備